

## 留学レポート2月

生物資源科学部3年 西村椋平

1月中旬あたりから、春学期が始まりました。何も分からなくて手探りでこなしていた秋学期とは違い、どこにどれだけ時間をかければいいのかがある程度わかるようになってきました。その空いた時間で、友達とも時間を増やしたり、クラブ活動に参加したりと、充実した日々を送っています。

ケント大学がある場所は、例年氷点下が続くようなとても寒い場所にあります。去年の12月には-20°まで下がりました。ですが今年は暖冬らしく、最近は徐々に過ごしやすい気候になっています。

### ・バドミントンについて

ここ数週間、力を入れているのがバドミントンです。中学生の頃から部活でやっており、今はケント大学のバドミントンクラブに所属しています。バドミントンはアメリカではメジャーではないので、部員のほとんどが移民か留学生です。なので、アメリカ人に人気のバスケットボールやフットサルとは少し雰囲気が違ったコミュニティがある気がします。中には難民でアメリカにきた人もいて、とても興味深い話を聞くことができます。

そして、3月には初めての大会があります。オハイオ州の首都のような場所の、コロンバスという所で開かれます。僕のペアは中国人の友達で、どうにかコミュニケーションをとりながら勝つために練習しています。ここまで一生懸命に練習をするのは久々で、とても楽しいです。そして、一度試合をするだけで初対面の人も簡単に仲良くなれるのがスポーツのいい所で、打ち方を聞き合ったり改善点を話し合ったりと、スポーツを通してできる関係は面白いなと感じます。

全力でやればやるほど、たくさんの出会いがあり、人脈が広がっていきます。学生時代の頑張りがこのような形で返ってくるとは想像しておらず、やめなくてよかったなと思いました。

### ・誕生日

1月にアメリカで21歳の誕生日を迎えました。たくさんの友達に祝ってもらい、ケーキやプレゼントまで準備してくれてとても嬉しかったです。アメリカでは21歳が日本の成人式のような歳で、お酒やタバコが合法的にできる年齢です。

ここに来る前は友達ができなかったらどうしようと常に不安だったので、まさか誕生日をサプライズで祝ってもらえるなんて思っていませんでした。英語ができないなりに話かけまくり、会話は成り立たないことなんて頻繁にあります。頑張ってきてよかったなと思いました。

あと三ヶ月しかありませんが、1日1日を大切に送りたいです。

